

長野県出身プロ野球選手列伝（2021年版）

上原 昇（2組）

昨年当HPで、8月から4回にわたり、長野県出身のプロ野球人（選手）について紹介してきた。

最初の1、2回を私（上原）が投稿したところ、同期の田村栄治君（1組）と丸山幸雄君（2組）から「他にもこんな選手もいたよ」と教えてもらい続報（3、4回）を掲載した。

（参照HP「新着情報」：20年8月20日、9月23日、10月31日）

昨年プロ野球は新型コロナウイルス感染予防のため、試合数を120に減らし変則シーズンとなった。

今年もコロナが収束しない中、3月26日（金）、セ・パ両リーグ6カードがスタートしたが、無事にシーズンを終えることを祈りたい。

手元にある「プロ野球全選手名鑑 2021」を見ながら、今シーズン現役登録されている長野県出身の選手を拾い出してみた。既に前述のHPで紹介した選手も含め、以下5名が確認できた。プロ野球ファンは、いずれも10代から20代前半の地元出身若手選手たちの応援をよろしく。

1. 直江大輔（巨人、投手、背番号054）21歳、長野市出身、松商学園から巨人19年ドラフト3位入団、20年は1軍3試合登板するも、オフに椎間板ヘルニア手術を受け、今季は育成契約選手に、再起復活を期待
2. 牧 秀悟（横浜、内野手、背番号2）22歳、中野市出身、松本第一高校-中大から横浜21年ドラフト2位入団、東都大学を代表するスラッガー、今シーズン開幕3連戦（対巨人）でスタメン（3番打者）出場し、3戦目（3/28）ではタイムリー2塁打を放つなど期待通りの活躍
3. 水上（みづかみ）由伸（西武、投手、背番号128）23歳、上伊那郡出身、帝京三高-四国学院大から西武21年育成ドラフト5位入団、最速150キロのストレートが魅力の右腕



4. 高寺望夢（阪神、内野手、背番号67）18歳、上田市出身、上田西高から阪神21年ドラフト7位入団、高校通算31本塁打のパンチ力を誇る、阪神の今季ドラフトでは唯一の高校出身選手、頑張れ上田健児！



5. 赤羽（あかはね）由紘（ヤクルト、内野手、背番号023）21歳、松本市出身、日本ウエルネス筑北高-信濃グランセローズからヤクルト21年育成ドラフト2位入団、高校時代30本超のホームランの打力をアピール



【写真は1軍での活躍が期待される牧秀悟選手（横浜ベイスターズ）】



以上

(2021年3月28日記)